

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農業振興課		■担当係	園芸畜産係
■評価事業名称	農業用廃プラスチック処理費補助金			
■事業開始年度				
■評価事業コード	050200 - 054	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	03 魅力ある農林業の振興		
	■施策	04 環境保全型農業の推進		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	意識高揚及び適正処理を実施することにより環境に配慮した北上型農業の確立。農家から排出された使用済の農業用廃プラの適正処理の推進。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 27 年度事業計画	平成 27 年度事業量実績
01	農業用廃プラスチック処理費補助金	北上市農業用廃プラ適正処理推進協議会	処理費46円/kgのうち 8円/kg補助 処理予定数量 70,000kg	処理費46円/kgのうち 8円/kg補助 処理予定数量 62,704kg 春…27,662kg 秋…35,042kg 補助金501,632円

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	533	573	510	512	支出業務委託費-補助助成/農家数
人件費	944	763	804	1,340	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,477	1,336	1,314	1,852	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	塩ビ・農ポリ系回収量	66,568kg	71,020kg	62,998kg	62,704kg	塩ビ・農ポリ系回収量 単位:kg
03	排出農家戸数	913	900	867	791	年2回の排出農家総数(夏秋の2回排出した重複農家も2戸としてカウント)
04	回収農家戸数当たりコスト	1,618円	1736	1961	2738	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- ☐ A. 順調
- ☒ B. 概ね順調
- ☐ C. 遅れている

達成状況の分析

昨年並みの回収実績となり、おおむね順調。

問題点・課題等

回収業者の処理費用が毎年上昇しているため、定期的に農家負担も引き上げざるを得ない

1. 直接的な受益者の範囲

- ☐ 不特定多数に及ぶ
- ☒ 特定されるが多数に及ぶ
- ☐ 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- ☒ 大きな不利益やリスクが生じる
- ☐ ある程度の不利益やリスクが生じる
- ☐ 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- ☐ 類似の事業はない
- ☒ 類似の事業はあるが競合はない
- ☐ 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ☐ ニーズが高まっている
- ☒ ニーズは変わらない
- ☐ ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い
- ☒ 順位が中程度
- ☐ 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- ☒ 順位が高い
- ☐ 順位が中程度
- ☐ 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- ☐ 先進的またはユニークな事業である
- ☒ 他と同程度の事業である
- ☐ 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- ☐ 民間委託等の拡充は難しい
- ☒ 民間委託等の拡充が十分に可能
- ☐ 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- ☒ 今以上の効率化や改善は難しい
- ☐ 効率化や改善を図ることは十分に可能
- ☐ 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策

■今後の方向性

- ☐ I. 拡充
- ☒ II. 継続
- ☐ III. 縮小
- ☐ IV. 廃止・休止
- ☐ V. 完了